

第2次白山市総合計画の進捗状況について




1 第2次白山市総合計画（平成29年3月策定）の概要

(1) 計画期間

平成29（2017）年度～令和8（2026）年度（10年間）

(2) 将来都市像と基本理念

① 将来都市像 **健康で笑顔あふれる元気都市 白山**
 ～次世代への贈り物 白山の恵みと人集い、活力あふれるまち～

- ② 基本理念
-  健康 市民一人ひとりが健康で活躍するまち
 -  笑顔 地域や世代を超えた交流による笑顔あふれるまち
 -  元気 人も自然も産業も元気なまち

(3) 目標人口及び世帯数の見通し〔目標年次：令和8（2026）年〕

- ① 目標人口 109,000人
- ② 世帯数の見通し 40,000世帯

(4) まちづくりの目標

① 誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくり	健康・福祉
② 地域ぐるみで豊かな心と体を育み健康で活躍できるまちづくり	教育・スポーツ
③ 人と地域の交流で笑顔が生まれる市民主体のまちづくり	市民生活
④ 市民の暮らしを支える快適で笑顔あふれる安全なまちづくり	都市基盤
⑤ 賑わいと活力がみなぎる元気なまちづくり	産業
⑥ 自然・歴史・文化と人が交わり元気に輝くまちづくり	観光・文化
⑦ 市民の信頼に応えるまちづくり	行財政

(5) 重点プロジェクト

プロジェクト① 11万人の市民が活躍する「健康」プロジェクト

プロジェクト② 協働・連携でつくる「笑顔」プロジェクト

プロジェクト③ まちの魅力と価値を高める「元気」プロジェクト

(③保健) (⑧成長・雇用) (⑪都市)



2 重点プロジェクトの達成状況

第2次白山市総合計画では、今後の10年先を見据えた視点から、各章を横断した重点的な施策として、3つの重点プロジェクトを設定しており、重点プロジェクトごとに定めた令和8（2026）年度の目標値に対する達成状況は、次のとおりです。

(1) プロジェクト1 11万人の市民が活躍する「健康」プロジェクト

住み慣れた地域で安心して住み続けられる都市を目指し、子どもを産み育てられる環境を充実させる取り組みを推進するとともに、市民がいきいきと、生涯活躍できる心と体の健康づくりをさらに進める取り組みを推進します。

【主な取組】 ■子育て環境の充実 ■健康づくりの推進

指標	現況値	実績	備考	目標値 (R8)
総人口 (人)	110,408 (R2)	109,693	(R4.10.1現在)	109,000
合計特殊出生率	1.58 (R元)	—	(R3年度実績1.50)	1.70
人口の社会増減数 (人/年)	312 (R2)	137	(R3.10.1～ R4.9.30)	+2,500 (5年間合計)

(2) プロジェクト2 協働・連携でつくる「笑顔」プロジェクト

郷土を理解し、愛着と誇りを持つ心を育む取り組みを推進するとともに、様々な課題を解決し、活力ある地域を維持できるよう、人と人、地域と地域が互いに支え合う協働・連携のまちづくりを推進します。

【主な取組】 ■市民協働の推進と国際化への対応 ■ネットワークの充実・強化

指標	現況値	実績	備考	目標値 (R8)
国内・国際交流交流人口 (人/年)	475 (R2)	1,180	(R4年度末)	10,000
地域コミュニティ組織の設立 (件)	2 (R2)	9	(R4年度末)	28 (累計)
住み良いと感じる市民の割合 (%)	83 (R3)	—	(計画策定時に調査)	80以上

(3) プロジェクト3 まちの魅力と価値を高める「元気」プロジェクト

多様な資源を最大限に活かし、農林水産業や商工業、観光などの強化を図るとともに、自然や歴史・文化等のブランド力の向上を図る取り組みを推進します。

【主な取組】 ■産業・観光の振興 ■ブランド力の向上と魅力発信

指標	現況値	実績	備考	目標値 (R8)
市内従業者数 (人)	54,992 (H28)	57,952	R3経済センサス活動調査 (確定値)	56,000
観光入込客数 (万人/年)	329 (R2)	368	(R4年度末)	462

3 基本計画の各施策の事業評価（総括）

(1) 令和4年度事業評価について

事業評価については、第2次白山市総合計画基本計画の「施策の概要」に位置付けられる取組ごとに「有効性」、「効率性」「公平性」「将来性」の4つの視点から、次の基準に従って担当課が評価しました。

①評価のポイント

・有効性

事業の成果と活動量(やり方・進め方)に見合った十分な成果が出ているのかを評価します。

・効率性

事業の活動量(やり方・進め方)とコスト(事業費・人件費)が適切なものになっているのか(過剰にコストをかけていないか)を評価します。

・公平性

事業の受益者(サービスを受ける方)が全市民対象もしくは特定の市民(年齢、居住地、収入など)に限られるようなサービスの場合に受益者負担(サービスの内容に応じた使用料や手数料などを支払い)を求めることが、市民の納得が得られるものになっているのかを評価します。

・将来性

事業を継続する上で当年度の実績が次年度以降に効果が見込めることを評価します。

②評価

「有効性」「効率性」「公平性」「将来性」を「4点」から「1点」の点数で判断

4点：目標を上回って達成

3点：ほぼ目標どおり

2点：目標を下回った

1点：目標を大きく下回った

③総合評価

「有効性」「効率性」「公平性」「将来性」の合計点数により「A」から「D」に判定

A：目標を達成された

B：一定の進捗がある（達成に向けて進捗している）

C：進捗は遅れている（達成が遅れる可能性がある）

D：進捗は大幅に遅れている

(2) 事業評価まとめ

(単位：取組数)

まちづくりの目標	評 価				総合評価		
	点数	有効性	効率性	公平性	将来性	区分	取組数
① 誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくり	4点	41	32	33	45	A	24
	3点	123	109	125	115	B	140
	2点	14	37	20	18	C	14
	1点	0	0	0	0	D	0
② 地域ぐるみで豊かな心と体を育み健康で活躍できるまちづくり	4点	17	12	11	15	A	11
	3点	49	57	55	51	B	60
	2点	5	2	5	6	C	0
	1点	1	1	1	0	D	1
③ 人と地域の交流で笑顔が生まれる市民主体のまちづくり	4点	8	1	14	24	A	5
	3点	50	13	45	36	B	53
	2点	7	44	7	5	C	8
	1点	2	9	1	2	D	1
④ 市民の暮らしを支える快適で笑顔あふれる安全なまちづくり	4点	63	29	55	69	A	27
	3点	67	73	72	65	B	100
	2点	14	35	16	11	C	19
	1点	2	9	3	1	D	0
⑤ 賑わいと活力がみなぎる元気なまちづくり	4点	22	9	15	20	A	11
	3点	35	42	47	42	B	49
	2点	14	18	9	11	C	12
	1点	6	8	6	4	D	5
⑥ 自然・歴史・文化と人が交わり元気に輝くまちづくり	4点	26	6	13	25	A	8
	3点	50	73	71	60	B	78
	2点	11	10	5	4	C	3
	1点	2	0	0	0	D	0
⑦ 市民の信頼に応えるまちづくり	4点	14	10	12	11	A	7
	3点	16	18	20	18	B	24
	2点	3	5	1	4	C	2
	1点	0	0	0	0	D	0
全 体	4点	191	99	153	209	A	93
	3点	390	385	435	387	B	504
	2点	68	151	63	59	C	58
	1点	13	27	11	7	D	7